

事例紹介

インドの資産管理会社

提供するサービス：企業セクレタリアル・コンプライアンス

セクター・業種：金融



インドのウェルスマネジメント会社向け会社秘書業務一式

顧客

当社のクライアントはインドのプロフェッショナルな資産管理会社であり、あらゆる種類の金融サービスに従事しています。その中には、株式仲介、預託参加者、ポートフォリオ管理、投資顧問、融資活動、企業、金融機関、銀行、投資信託、中央・州政府、保険会社、年金、謝礼による資金、代替投資、不動産、その他インド国内外で金融商品を扱う機関/事業体の提供による金融商品の販売が含まれますがこれに限定されません。

Nexdigmのバリュー・プロポジション

私たちは、会社の経営陣と密接に協力し、以下のようなエンドツーエンドのセクレタリアル・コンプライアンスを促進しました。

- 取締役会の開催
- Annual General Meeting・AGM（年次株主総会）の実施
- 法定帳簿の管理
- 規制当局の監査に必要な情報提供の支援
- デューデリジェンス支援
- 法的文書や契約書のレビュー
- 資金調達のサポート
- National Stock Exchange・NSE（国立証券取引所）/
Bombay Stock Exchange・BSE（ボンベイ証券取引所）コンプライアンス

事例ハイライト

- 企業セクレタリアルのサポートをタイムリーに提供し、様々な活動を合理的に行うための会社のコンプライアンス・ステータスの維持につながりました。
- 当社のチームは、緊急時に短時間で書類を提出できるよう常にスタンバイしています。インド投資信託協会（Association of Mutual Funds in India・AMFI）が提示した条件を満たし、AMFIの記録における会社のステータスを復活させるため、深夜に社名変更の申請を行った。

課題

1. ダイナミックなビジネス環境の中で、複数のステークホルダーと接し、必要に応じて法律顧問と連携しながら、クライアントの企業セクレタリアル・コンプライアンスや取引を完了させるために適応することができること。
2. クライアントの関係者と連携をとりながら、複数の業務を同時に処理すること。
3. 限られた時間で膨大な株式保有状況を含むあらゆる重要データを分析し、資金調達時には営業時間外も含めてサポートします。

当社のソリューション

当社のチームは、標準的な企業セクレタリアル・コンプライアンス業務、特殊なセクレタリアル・コンプライアンス業務、臨時のセクレタリアル・コンプライアンス業務など、さまざまな責任を果たすために複数の役割を担いました。

標準サービス

通達決議を含む最大6回の取締役会、4回のAudit & Risk Committee・ARC（監査・リスク委員会）の実施、Extraordinary General Meeting・EGM（臨時株主総会）、およびAGMの実施

- 企業省(Ministry of Corporate Affairs・MCA)に提出する必要があるすべての重要な提出物の世話をした。
- Foreign Exchange Management Act・J FEMA（外国為替管理法）に基づくForeign Liabilities and Assets・FLA（外国負債および資産）申告、預金に関する年次申告、会社登記官への半期申告の管理。
- 年次取締役Know Your Customer・KYCコンプライアンス、規制および法定監査のための重要書類および情報の提供、eXtensible Business Reporting Language・XBRL変換、その他重要な年次申告書類の作成および提出を担当。
- 様々なステークホルダーとの詳細な株式保有パターンやその他の財務書類を四半期ごとに提出し、必要に応じてあらゆる秘書業務に関する助言を行った。

特化したサービス

- 資金調達に関連するEGMおよび取締役会の実施と文書化。
- 私募による資本性金融商品の発行、既存のすべての転換商品の株式への転換、授権株式資本の再分類・増加など、会社の法務評議会や他の利害関係者との調整を含むコンプライアンスを実施する。
- NSE及びBSEへの対応、株主間契約/新株引受契約の締結のための調整及び情報提供。
- 新規・既存投資家へのデューデリジェンス支援、従業員の証券取引等監視委員会（National Institute of Securities Markets・NISM）適用状況を毎週追跡、EJIN（従業員固有識別番号）のマッピングと更新申請を定期的実施しました。

- 第三者機関に関するあらゆる法的文書を確認し、顧客導入のための文書に関連する事項を評価。
- 指名報酬委員会（Nomination and Remuneration Committee・NRC）会合の立ち上げ。

臨時のコンプライアンス

- 社名変更
- 新しい電子署名のアプリケーションの追跡と適用。
- 新任取締役選任のためのコンプライアンス対応
- 株主間協定書/新株予約権協定書の変更を定款に反映させるための定款書類の修正。
- クライアントのためにフルタイムのカンパニーセクレタリーを選定し、入社させ、カンパニーセクレタリーリソースを管理する。

インパクト

当社のサポートにより、お客様は様々な会社法上のコンプライアンス問題を回避し、潜在的なコスト削減を実現することができました。資金調達案件における私たちの役割は、単に企業セクレタリアル・コンプライアンスや文書作成にとどまらず、株主間契約の条項を分析し、いくつかの条項が会社に与える影響を明らかにし、商業的理解に従って様々なシナリオの株主のスケジュールを作成することも含まれていました。また、このチームは、会社の顧問弁護士、投資家の顧問弁護士、案件のプリンシパルの両方と常に連絡を取り合い、文書に関する彼らの質問に対応し、実行の承認を得た。

本事例に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

ThinkNext@nexdigm.com

また、当社のサービスがどのように具体的なビジネス効果をもたらしたかについては、当社のウェブサイトをご覧ください。

www.nexdigm.com